

2022年度 委員会事業計画書

委員会	特別委員会		
委員長	水野 秀章	副委員長	鈴木 雄大
基本方針	<p>我々瀬戸青年会議所が瀬戸のまちと共に将来にわたって発展していくためには、まちの未来を担う世代が、将来的にまちへの感謝のこころと高い貢献意欲もった人材になることが重要です。その第一歩としてまちへの愛着のこころをはぐくむ必要があります。そのためには我々自身がまちのことをより深く知り、全員がJAYCEEとして同じ方向を向き、互いの背中を預け合える、信頼しあえる組織となっていくことが重要です。</p> <p>そこで特別委員会では、我々が共有すべき価値観を再認識し、地域と瀬戸青年会議所の持つ歴史や文化、課題について考える機会と、共同作業における挑戦を通じた成功体験によって、メンバーの相互の信頼関係を醸成する機会を提供することで、瀬戸青年会議所を一致結束した団体へと導きます。また、まちの未来を背負って立つ子どもたちに、作品を創り上げる感動と、他者とのふれあいや協力の体験を通じて、楽しい記憶とともに「土」と「火」という瀬戸のまちのもつ文化の魅力を肌身で感じていただき、まちへの愛着のこころの萌芽とすることで、我々のまちや人への感謝のこころを体現します。</p> <p>特別委員会は2022年度、堅い絆で結ばれ、未来に向け力を合わせて先陣を切ることでできるメンバーを育成し、活気あふれる瀬戸のまちの一助となります。</p>		
事業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 総会・例会の設営及び例会の運営 2. 一致結束するための事業 <ol style="list-style-type: none"> (1) 価値観を共有する事業（3月例会） (2) 挑戦を自信にする事業（5月例会） 3. 感謝の心を体現する事業 <ol style="list-style-type: none"> (1) 「土」の魅力体験事業（7月例会） (2) 「火」の魅力体験事業（10月例会） 4. 新年を祝う会（1月例会時） 5. 次年度理事長激励の集い 6. 卒業生を送る集い（12月） 7. 卒業生を送る会（12月例会） 8. 広聴広報活動に関する業務 <ol style="list-style-type: none"> (1) ホームページの更新と運用（1月～12月） 		

- ①各種情報の発信と収集
- (2) J Cニュースの編集・発行
- (3) 活動の記録保存整理・調整
- (4) 報道機関との窓口業務
- (5) 一般社団法人 瀬戸青年会議所 P R
- 9. 第66回瀬戸 J C 賞に関する事業
 - (1) 募集・調査・分析 (1月～5月)
 - (2) 表彰式
- 10. 入会希望者ガイダンス (随時)
- 11. 新入会員面接 (随時)
- 12. 新入会員認承証伝達式
- 13. 褒賞・表彰及び慶弔に関する業務
- 14. 出席率の向上と出席表の作成
- 15. 定款の研究及び周知
- 16. 各委員会及び委員への連絡・調整
- 17. 奉仕箱の管理に関する業務
- 18. 各種会議に関する業務
 - (1) 京都会議 (1月20日～1月23日)
 - (2) 名古屋会議 (2月12日)
 - (3) 第55回愛知ブロック大会 (豊川) (9月3日)
 - (4) 第71回全国大会 (大分) (10月7日～10月10日)



19. 各種会議に関する窓口業務

- (1) JCI ASPAC (堺高石) (5月26日～5月29日)
- (2) 東海フォーラム (未定) (○月○日)
- (3) サマーコンファレンス (未定) (7月16日～7月17日)
- (4) JCI 世界会議 (未定) (11月7日～11月11日)

20. 姉妹JCに関する業務

- (1) 姉妹JCとの連絡調整
- (2) 密陽模範市民表彰

	収入の部		支出の部	
	科目	金額	科目	金額
予 算	1. 委員会事業費	1, 444, 500	3. 感謝の心を体現する事業	1, 400, 000
			4. 新年を祝う会	5, 000
			9. 広聴広報活動に関する業務	10, 000
			10. 第66回瀬戸JC賞に関する事業	19, 000
			14. 褒賞・表彰及び慶弔に関する業務	10, 500
	計	1, 444, 500	計	1, 444, 500